

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員からお知らせします。

営農指導員のワンポイントアドバイス

番外編

来てみて！  
「わいわい高原市場」

中国やまなみ街道（尾道・松江線）、高野インターチェンジそばの「道の駅たかの」には、県内外から多くの人が訪れます。

駅舎内の「わいわい高原市場」は、いつも活気であふれ、豊富な商品量でリピーターも多い、農産物などの直売所です。



わいわい高原市場とは

庄原産にこだわった新鮮な農産物や加工品を販売し、平成27年度から平成30年度までの売上高は4年連続で4億円を超えています。

商品は、市内約430の会員が出荷しています。委託販売方式で、商品の管理や価格設定は原則、出荷者に任せていますが、スタッフと共に、より良い売場づくりに取り組んでいます。

わいわい高原市場に出荷してみたい人へ

「道の駅たかの」出荷者協会に入会する必要があります。市内に住所を有する個人、団体、法人であれば、どなたでも入会可能です。（資格審査があります。）

詳しくは道の駅たかのまでお問い合わせください。

▼入会金 5千円

▼年会費 2千円（初年度は免除）



問い合わせ

道の駅たかの

☎0824・86・3131

高野支所地域振興室

☎0824・86・2113

第12話 (最終話)



街道沿線に存在するさまざまな資源をシリーズでお伝えしてきた「比婆いざなみ街道物語」。

最終回となる今回は、比婆いざなみ街道沿線を華やかに彩る「桜の名所」をご紹介します！

沿線地域を彩る桜

桜の名所が数多くある比婆いざなみ街道沿線には、1本でも圧倒的な存在感を放つ桜があります。

中でも「東城の二本桜」「高野・円正寺のシダレザクラ」「西城・蓮照寺のシダレザクラ」は県内でも屈指の名桜といわれています。

①千鳥別尺のヤマザクラ

樹高27メートル、幹回り4.6メートルの巨大な樹木はまるで天を突くような存在感です。

②小奴可の要害桜

亀山城跡に寄り添うように咲いているしだれ桜は、小ぶりながらもまとまりのある美しい樹形をしています。

③森湯谷のエドヒガン

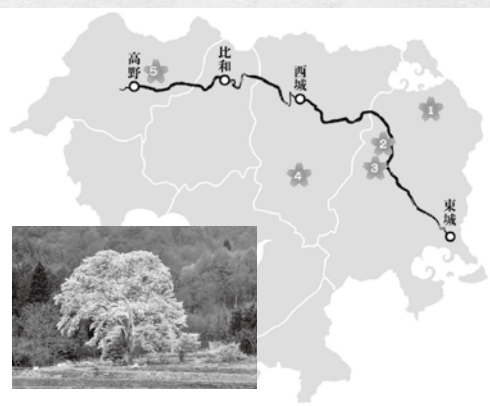
見上げると思わず感嘆の声が漏れる樹木は、高さ25メートル、幹回り5メートルで、エドヒガン種としては県内3番目の大きさです。

④蓮照寺のシダレザクラ

1880年頃、現本堂再建を記念して植えられたとされるしだれ桜。珍しいドーム型の形状が特徴です。

⑤円正寺のシダレザクラ

樹木3本のうち2本は江戸時代初期に植えられたとされています。隣にある金秀寺のしだれ桜とあわせて楽しむことができます。



比婆いざなみ街道沿線地域の桜は、種類もさまざまで見頃の時期が少しずつ異なるため、例年4月末まで楽しむことができます。

長い間、地域で愛されてきた美しい桜の下で春を満喫してみたいかがですか？

問い合わせ

☎0824・73・1278